

# 大切にしたい ぼくらの うら山

兵庫県 神戸市立 きたすま 北須磨小学校  
6年 井上 遼河 澤田 尚希 三木 巴月



## 学校紹介

北須磨小学校は、神戸市の南西部に位置します。

北に六甲山系、南に須磨海岸を望む、風光明媚な地域です。一方で、学校のすぐそばに阪神高速や第二神名道路の入口もあり、交通量の多いところ。敷地内には、樹齢300年を越えるクスノキをはじめとする多くの樹木、地域やPTAのボランティアの方々が手入れして下さる大きな花壇、ヤギの3代目・メーちゃんなどの動物を飼育している動物広場、カワバタモロコをはじめとする多くの生物がいる実験プールなど、自然を感じる場所がいっぱいあります。また、在原業平が伝えたと言われる一絃琴（須磨琴）を地域の方に教えてもらうクラブ活動もあります。



## 活動場所

学校のすぐ裏に“うら山”があります。入ってすぐの広場は「堰堤」と言います。低学年はこの堰堤を中心にどんぐりや落ち葉ひろいをします。また、4年生の飯盒炊爨も、この堰堤にかまどを組んで行います。図工の時間に絵を描いたり、材料を拾ったりするのも、ここで行います。

堰堤からは尾根伝いに道がついていて、ハイキングコースになっています。親子ふれあいハイキングや異学年交流、「秋の自然を楽しむ会」での神戸女子大学主催のオリエンテーリングなどに利用します。



## サミットに参加してみよう...

### 今彼の夢・希望・活動計画

子どもたちは、裏山での活動が大好きである。せっかく身近にある場所なので、年間活動計画の見直しをしながら、今後も積極的に教育活動に利用していきたい。そのためにも、より安全に子どもたちが活動できるように、裏山の整備にも力を入れていきたい。子どもが整備するには危険が大きいので、まずは職員で、さらに地域にも呼びかけて整備を進めたい。専門的な知識・技術を持った機関との連携も必要である。子どもたちが安全に、楽しく過ごせる場所にしていきたい。



各小学校の取組 ⑰



## 大切にしたい ぼくらのうら山

兵庫県 神戸市立北須磨小学校

6年 井上 遼河

澤田 尚希

三木 巴月

## &lt;学校紹介&gt;

北須磨小学校は、神戸市の西部に位置し、南に須磨海岸、北に六甲山系の山々（須磨アルプス）があります。校区内には離宮公園や、須磨寺があり、町にも「月見山町」「離宮前町」「須磨寺町」など、歴史を感じる名前がついています。もともと武庫離宮（現在の離宮公園）の一部であった校地内には、クスノキ、ヤマモモ、クヌギなどの木々が多く、幻のアジサイといわれるシチダンカが咲き、校内でナナフシやクワガタが見られるなど、自然がいっぱいです。

北須磨小学校に通うぼくたちが、みなさんに自慢できることが4つあります。一つ目は「円形校舎」です。これは神戸市内166ある小学校の中でも2校しかありません。二つ目は樹齢300年以上になる大きなクスノキです。このクスノキの生えている近くは「くすのき広場」として、みんなの遊び場所になっています。三つ目は、ヤギのメーちゃんをはじめとするたくさんの動物たちです。去年まで、世話は飼育委員会がしていましたが、今年から3年生以上の全員がたくさんの動物たちの世話をしています。そして四つ目が、今日紹介する「うら山」です。自由に行くことはできませんが、ぼくたちの大好きな場所です。

## &lt;裏山の特徴&gt;

裏山に入ると、「堰堤」と呼んでいる広場があります。活動時の集合場所になったり、主な活動場所になったりします。また、裏山の中には、20～30分程度で歩けるハイキングコースがあります。たくさんの木が生えているので、少しくらいの雨でも気になりません。アップダウンが結構あり、いい運動になります。わかりやすい道ですが、外れてしまうと須磨アルプスにもつながっているので、注意が必要です。

## &lt;裏山での活動・授業の中で&gt;

## ○うら山ハイキング

兄弟学年で、お父さん・お母さんも一緒になってグループを作り、ハイキングコースを歩きます。ネイチャービンゴをしながら歩く時もあります。

## ○飯ごうすいさん

毎年4年生が、10月ごろ実施します。堰堤にかまどを組み、うら山の落ち葉や木の枝を拾ってきて、ご飯を炊きます。おうちの方にも手伝ってもらいます。5年生の自然学校に向けての練習にもなっています。

## ○図工の授業

図工の授業で、うら山に行くこともあります。去年は、うら山の木をとってきて、校舎裏で土鈴を焼きました。また、今年になってからは、うら山で自分のお気に入りの葉っぱを見つけ、絵を描きました。うら山で造形遊びをしたり、工作をしたりする学年もあります。

## ○北須磨タイム（総合的な学習）

ぼくたちは、うら山で虫探しをしたり、自然マップを作ったりしています。まだ始まったばかりの活動ですが、大好きなうら山をこれからも活動の場として残していくために、学校みんなが大切にしてくれるように呼びかける活動にできたらいいなと思っています。

## 森林環境教育の実践について

### 1. これまでの実践の成果（実践の効果や子どもの成長、今後の期待など）

親子ハイキング（うら山ハイキング・オリエンテーリング）は、兄弟学年で実施することが多い。そのため、高学年は、「低学年がけがをしないように」「みんなが同じペースで歩けるように」と、考えながら活動している。高学年としての自覚や責任が芽生える場となっている。また、保護者にも参加を呼びかけることで、いろいろな子どもと保護者が知り合い、交流を図る場にもなっている。

危ない事や苦手な事から距離を置きがちな子も、友だちと一緒に斜面を登ってみたり、虫に近づいてみたり、普段しない事にチャレンジする場にもなっている。

### 2. 実践の課題（苦労したことや困ったことなど）

教育課程が大きく変わり、時間的な余裕がなくなってしまった。そのため、“学活の時間に裏山に行って遊ぶ”“空き時間ができたので裏山で遊ぶ”という事が、なかなかできない。せっかく学校のすぐそばにある裏山だが、十分に活用する時間がなくなってしまった。

6月頃からは、蚊が非常に多くなり、ヘビやハチといった危険な生き物もたくさん出てくるようになる。防護のため長袖長ズボン活動を基本の服装としているが、夏の暑さは耐えがたく、11月頃まで裏山での活動は難しくなる。時期が限定されるのも困ったところである。広いフィールドなので、手入れも簡単にはできないところも困っている。

### 3. 課題への対応（工夫したことや課題の解決策など）

少しでも裏山の環境を活用できるように、子どもたちが裏山にいけるように、可能な限り学習活動に組み入れている。

ひとつは、図工や生活科の時間である。裏山に落ちている枝や木の実、葉などを材料として、工作活動や描画活動をしている。また、裏山の斜面や立木を利用した造形あそびや校舎裏の楽ペースを使い、裏山の枝を拾ってきて燃やす野焼き（土鈴作り）もしている。

もうひとつは、総合的な学習の時間である。今年度は6年生が自然環境を活用するプロジェクトを立ち上げ、自分たちでできること（生き物マップづくりや危険箇所マップづくり、腐葉土づくりなど）を計画しているところである。この活動に参加するときは、荷物を背負えるようにすること、長袖長ズボンを着用する事を約束にしている。

### 4. その他（今後の計画や方向、抱負や希望など）

これまでも行ってきた親子ハイキングや飯ごうすいさんなどの行事は、今後も継続して続けていきたい。限られた時間の中で、できるだけ多くの子どもが裏山に親しめるように、異学年交流などでの積極的な活動を取り入れていきたい。「秋の自然を楽しむ会」では、自然観察クラブだけではなく、神戸女子大学も実施に関わってくれている。今後も多くの家庭に呼びかけ、多数の参加を募りたい。

また、OISCAさんなど、専門知識・技術のある方の協力を得て、裏山環境の整備も進めていきたいと考えている。学校だけでなく、地域の宝として、裏山が活用されることを期待する。



# たくましく生きる 吐山っ子の「森林学習」

## ～ 森林の恵みを生かして～



奈良県 奈良市立 <sup>はやま</sup>吐山小学校  
6年 堀川 琴夢 南田 明日香

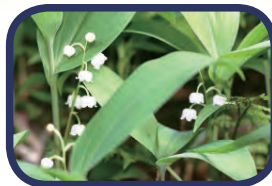
各小学校の取組  
⑱

### 学校紹介

吐山小学校は、奈良市の南東部、大和高原の標高 400～500m の盆地にあり、ハコネサンショウウオが棲み、本州南限のスズラン群生地がある豊かな自然に囲まれています。

明治7年、“春日神社参籠所”<sup>さんろうじょ</sup>を仮校舎とし、質盛館と称して発足し、今年創立138周年を迎えました。

現在は、地域の中心に校舎・運動場・体育館・プールが揃っています。全校児童数は、52名です。高学年は、毎年、地域に伝わる吐山太鼓踊り（伝統無形文化財）を保存会の方に教えてもらっています。また、平成3年度に、緑の少年団に参加し、全校で自然・森林環境学習に取り組んできました。



### 活動場所

近くの笠間川（淀川水系の上流）では、川遊びや魚採り、水生動物の調査、水質検査など学年に応じた活動をしています。また、大和富士と呼ばれる額井岳<sup>ぬかいだけ</sup>や1,500万年前は海の底であったといわれる貝ヶ平方面へ、笠間川の源流を遡ることができます。校区にある奈良県立野外活動センターの実習林では、グリーンオリエンテーリングや間伐体験ができます。施設では、例年5・6年生がアスレチックやピザ作り、木工クラフト、竹炭作り、キャンプなど、野外活動や宿泊訓練をしています。



### サミットに参加してみよう...

#### 今復の夢・希望・活動計画

サミットに参加した児童は、「源流探検で頂上まで行けなかった山があるので 行きたい」「もう一度 間伐体験をしてみたい」と、これまでの活動を振り返っていました。

今年の4年生は、奈良県森林環境教育体験学習の助成を受けて、笠間川の源流を訪ねるだけでなく、下流の名張川から五月川、木津川、淀川まで見学する計画を立てています。吐山の森から湧き出た水の旅を体験しようとしているのです。

このように、これまでの実践をもとに、これからも自然や森林環境の学習を一層発展させていきます。





# たくましく生きる吐山っ子の 「森林環境学習」 ～森林の恵みを生かして～



奈良市立吐山小学校

6年

堀川 琴夢

南田明日香



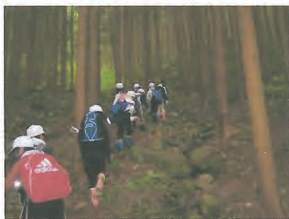
～野外活動 in 奈良県立野外活動センター～

鈴蘭 ちゃん

楽しかったです。食べたり、寝たり、キャンプファイヤーしたり、アスレチックをしたり、オリエンテーリングしたりしました。カレーを作ったのも、みんなでやったウノも、トランプも楽しかったです。お風呂も時間は短かったけど、気持ちよかったです。



～吐山源流探検～



四年生になると、近くの山に源流探検に行きます。

山の中はひんやりとしていて、とても涼しいです。

でも、とてもしんどかった

です。ハコネサンショウウオは残念ながら、見つけられませんでした。



おにぎりを家から持ってきて食べたらおいしかったです。



鈴蘭 ちゃん

## 森林環境教育の実践について

### 1. これまでの実践の成果（実践の効果や子どもの成長、今後の期待など）

吐山小学校では、長年にわたり周辺の自然環境を生かして森林環境学習を進めてきました。平成3年度には、緑の少年団に加入しています。

1、2年生は、生活科で校区探検や笠間川から学ぶ体験学習に取り組んでいます。3年生は、自然・地域学習、4年生は森林環境・地域学習を、5・6年生では野外学習などを総合的な学習の時間を中心にして活動を進めています。

児童は、自然や森林の大切さを学ぶと同時に故郷を誇りに思う気持ちも育てています。地域教材を取り扱うに当たり、地域の方々の惜しみない協力とご支援をいただいているからです。人とのつながりが深まり、学校と地域の連携が進んでいます。



### 2. 実践の課題（苦労したことや困ったことなど）

今まで開発してきた地域教材をいかに継承していくかが課題です。今後、森林環境教育としてのどのような力を身に付けさせるのかを明確にし、森林環境教育の大切さを見直して、これまで以上に発展させたいと考えています。

### 3. 課題への対応（工夫したことや課題の解決策など）

まず、県立野外活動センターや北部農林事務所などの関係機関と一層連携をとって、森林環境教育を進めていくことが考えられます。また、地域の方々に協力や支援を要請するとともに、外部の講師などを積極的に招聘していきたいと考えます。

奈良市は「地域で決める学校予算事業」に取り組んでいます。その事業を受けて、今年度、本校では「吐山っ子理科教室」を立ち上げ、地域在住の方に学習支援をしていただく予定です。

### 4. その他（今後の計画や方向、抱負や希望など）

本校の長期にわたる取組が評価され、平成22年度には、“全国緑の少年団活動発表大会優良賞”をいただき、全国育樹祭イベントで発表しました。平成23年度には、第35回全国育樹祭奈良県大会の協力校として、お手入れ行事や式典に参加しました。今年度は「全国子どもサミット in 京都」で発表する機会をいただきました。

このように、評価されたり発表したりすることは、大きな励みになります。児童にとって貴重な体験ができたことに感謝しています。

